



ネットアップアカウントを設定する

Set up and administration

NetApp
June 28, 2022

目次

ネットアップアカウントを設定する	1
ネットアップアカウントについて	1
ネットアップアカウントでワークスペースとユーザをセットアップ	5

ネットアップアカウントを設定する

ネットアップアカウントについて

NetApp アカウント _ はマルチテナンシーを提供し、Cloud Manager 内から分離されたワークスペース内のユーザやリソースを管理できます。

たとえば、複数のユーザが、_workspaces という分離された環境に Cloud Volumes ONTAP システムを導入して管理できます。これらのワークスペースは、共有されていない限り、他のユーザーには表示されません。

Cloud Manager に初めてアクセスするときは、ネットアップアカウントを選択するか作成するかを尋ねられます。



Hi Ben,

Welcome to Cloud Manager

SET UP CLOUD MANAGER

Cloud Manager will be created in account: MyAccount 

 Cloud Manager Name

LET'S START

アカウント管理者は、ユーザー（メンバー）、ワークスペース、コネクタ、およびサブスクリプションを管理することで、このアカウントの設定を変更できます。



手順については、を参照してください ["ネットアップアカウントをセットアップする"](#)。

MAX Cloud Volumes ONTAP システム

Cloud Volumes ONTAP システムの最大数は、使用しているライセンスモデルに関係なく、ネットアップアカウントあたり 20 に制限されます。

a_system_には、HA ペアまたはシングルノードシステムを指定します。たとえば、2つのCloud Volumes ONTAP HAペアと2つのシングルノードシステムがある場合、合計4つのシステムがあり、アカウントに16のシステムを追加することができます。

ご質問がある場合は、アカウント担当者または営業チームにお問い合わせください。

Account Settings（アカウント設定）

Cloud Manager のアカウント管理ウィジェットでは、アカウント管理者がネットアップアカウントを管理できます。アカウントを作成したばかりの場合は、最初から作成します。アカウントをすでに設定している場合は、アカウントに関連付けられているユーザ、ワークスペース、コネクタ、およびサブスクリプションが *all* と表示されます。

概要

概要ページには、アカウント名とアカウント ID が表示されます。一部のサービスを登録するときに、アカウント ID の入力が必要になる場合があります。このページには、Cloud Manager の設定オプションもいくつか表示されます。

メンバー

このメンバーは、ネットアップアカウントに関連付ける NetApp Cloud Central ユーザです。ユーザーをアカウントに関連付け、そのアカウント内の 1 つ以上のワークスペースを使用すると、ユーザーは Cloud Manager で作業環境を作成して管理できます。

ユーザに関連付けると、ユーザにロールが割り当てられます。

- *Account Admin* : Cloud Manager で任意の操作を実行できます。
- *_ ワークスペース管理者 _* : 割り当てられたワークスペースでリソースを作成および管理できます。
- *Compliance Viewer*: Cloud Data Sense のコンプライアンス情報を表示し、アクセス権のあるシステムのレポートを生成することのみができます。
- *_ SnapCenter Admin _* : SnapCenter サービスを使用して、アプリケーションと整合性のあるバックアップを作成し、それらのバックアップを使用してデータをリストアできます。_ このサービスは現在ベータ

版です。 _

["これらの役割の詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

ワークスペース

Cloud Manager では、ワークスペースによって、いくつかの _作業環境_ が他の作業環境から分離されます。アカウント管理者がそのワークスペースに管理者を関連付けないと、ワークスペース管理者はワークスペース内の作業環境にアクセスできません。

稼働環境はストレージシステムを表します。

- シングルノードクラウドボリューム ONTAP システムまたは HA ペア
- ネットワーク内のオンプレミス ONTAP クラスタ
- NetApp プライベートストレージ構成の ONTAP クラスタ

["ワークスペースを追加する方法について説明します"](#)。

コネクタ

Cloud Manager は、パブリッククラウド環境内のリソースやプロセスを管理できます。Connector は、クラウドプロバイダに導入する仮想マシンインスタンス、または設定したオンプレミスホストで実行されます。

1 つのコネクタを複数のネットアップクラウドデータサービスで使用できます。たとえば、Cloud Manager のコネクタをすでに持っている場合は、Cloud Tiering サービスのセットアップ時にコネクタを選択できます。

["コネクタの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

サブスクリプション

選択したアカウントに関連付けられているネットアップのサブスクリプションです。

クラウドプロバイダのマーケットプレイスから Cloud Manager にサブスクライブすると、Cloud Central にリダイレクトされます。この場合、サブスクリプションを保存して特定のアカウントに関連付ける必要があります。

登録が完了すると、「アカウントの管理」ウィジェットから各サブスクリプションが利用できるようになります。現在表示しているアカウントに関連付けられている月額プランのみが表示されます。

サブスクリプションの名前を変更したり、1 つまたは複数のアカウントからサブスクリプションの関連付けを解除したりすることができます。

たとえば、2 つのアカウントがあり、それぞれが別々のサブスクリプションで課金されるとします。いずれかのアカウントとサブスクリプションの関連付けを解除することで、Cloud Volume ONTAP 作業環境の作成時にそのアカウントのユーザが誤って誤ったサブスクリプションを選択しないようにすることができます。

["サブスクリプションの管理方法について説明します"](#)。

例

次の例は、アカウントの設定方法を示しています。



次のどちらの例のイメージも、コネクタと Cloud Volumes ONTAP システムは、実際にはクラウドプロバイダで実行されている *in* ネットアップアカウントには存在しません。これは、各コンポーネント間の関係の概念図です。

例 1.

次の例は、2つのワークスペースを使用して分離された環境を作成するアカウントを示しています。1つ目のワークスペースは本番環境用で、2つ目のワークスペースは開発環境用です。

Account



例 2

次に、2つの異なるネットアップアカウントを使用した場合の、最も高度なマルチテナンシーの例を示します。たとえば、サービスプロバイダは、あるアカウントで Cloud Manager を使用して顧客にサービスを提供しながら、別のアカウントを使用して事業部門の1つにディザスタリカバリを提供することができます。

アカウント 2 には2つのコネクタがあります。これは、システムが別々の地域にある場合や、別々のクラウドプロバイダにある場合に発生することがあります。



ネットアップアカウントでワークスペースとユーザをセットアップ

Cloud Manager に初めてログインするときは、**_netapp アカウント_**を作成するように求められます。このアカウントはマルチテナンシーを提供し、分離されたワークスペース内でユーザとリソースを整理することができます。

["ネットアップアカウントの仕組みをご覧ください"](#)。

ユーザが Cloud Manager にアクセスしてワークスペース内の作業環境にアクセスできるように、ネットアップアカウントをセットアップします。1 人のユーザを追加するか、複数のユーザとワークスペースを追加するだけです。

ワークスペースを追加します

Cloud Manager のワークスペースを使用すると、作業環境のセットを他の作業環境や他のユーザから分離できます。たとえば、2 つのワークスペースを作成し、各ワークスペースに別々のユーザを関連付けることができます。

手順

1. の上部から **"クラウドマネージャ"** をクリックし、**[Account]** ドロップダウンをクリックします。



2. 現在選択されているアカウントの横にある [* アカウントの管理 *] をクリックします。



3. [* ワークスペース *] をクリックします。
4. [新規ワークスペースの追加] をクリックします。
5. ワークスペースの名前を入力し、 * 追加 * をクリックします。

ワークスペース管理者がこのワークスペースにアクセスする必要がある場合は、ユーザーに関連付ける必要があります。また、ワークスペース管理者がコネクタを使用できるように、コネクタをワークスペースに関連付ける必要があります。

ユーザを追加します

Cloud Central ユーザをネットアップアカウントに関連付けて、これらのユーザが Cloud Manager で作業環境を作成および管理できるようにします。

手順

1. ユーザーがまだ行っていない場合は、にアクセスするようにユーザーに依頼します "NetApp Cloud Central" 登録してください。
2. の上部から "クラウドマネージャ" をクリックし、 [Account] ドロップダウンをクリックして、 [Manage Account] をクリックします。



3. メンバータブで、* ユーザーを関連付け * をクリックします。
4. ユーザの E メールアドレスを入力し、ユーザのロールを選択します。
 - * アカウント管理者 * : Cloud Manager で任意の操作を実行できます。
 - * ワークスペース管理者 * : 割り当てられたワークスペースでリソースを作成および管理できます。
 - * Compliance Viewer * : クラウドデータセンシガバナンスおよびコンプライアンス情報のみを表示し、アクセス権のあるワークスペースのレポートを生成できます。
 - * SnapCenter Admin* : SnapCenter サービスを使用して、アプリケーションと整合性のあるバックアップを作成し、それらのバックアップを使用してデータをリストアできます。このサービスは現在ベータ版です。
5. Account Admin 以外のアカウントを選択した場合は、そのユーザに関連付けるワークスペースを 1 つ以上選択します。



The image shows a web-based dialog box titled "Associate User". At the top, there is a user icon and the title. Below the title, a light blue banner contains the text: "To add a user to your NetApp Cloud Account, that user must already have signed up at [NetApp Cloud Central](#). Enter the email address that they used when signing up with Cloud Central." The main form area has three sections: "User's Email" with a text input field containing "test@netapp.com"; "Role" with a dropdown menu showing "Workspace Admin"; and "Associate User to Workspaces" with a dropdown menu showing "Workspace-1" and a close icon. At the bottom, there are two buttons: a grey "Cancel" button and a blue "Associate User" button.

6. [関連付け（Associate）] をクリックします。

ユーザには、NetApp Cloud Central の「Account Association」というタイトルの E メールが送信されます。E メールには、Cloud Manager にアクセスするために必要な情報が記載されています。

ワークスペース管理者をワークスペースに関連付けます

ワークスペース管理者は、いつでも追加のワークスペースに関連付けることができます。ユーザーを関連付けると、ワークスペース内の作業環境を作成して表示できます。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。



2. メンバー (Members) タブで 'ユーザー' に対応する行のアクションメニューをクリックします



3. * ワークスペースの管理 * をクリックします。
4. 1 つ以上のワークスペースを選択し、* 適用 * をクリックします。

コネクタがワークスペースにも関連付けられていれば、ユーザは Cloud Manager からこれらのワークスペースにアクセスできるようになりました。

コネクタをワークスペースに関連付けます

ワークスペース管理者がコネクタを使用して Cloud Volumes ONTAP システムを作成できるように、コネクタをワークスペースに関連付ける必要があります。

アカウント管理者のみがいる場合は、コネクタをワークスペースに関連付ける必要はありません。アカウント管理者は、デフォルトで Cloud Manager のすべてのワークスペースにアクセスできます。

"ユーザー、ワークスペース、コネクターの詳細をご覧ください"。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。



2. コネクター（* Connector）をクリックします。
3. 関連付けるコネクタの * ワークスペースの管理 * をクリックします。
4. 1 つ以上のワークスペースを選択し、* 適用 * をクリックします。

ワークスペース管理者は、これらのコネクタを使用して Cloud Volumes ONTAP システムを作成できるようになりました。

次の手順

アカウントの設定が完了したので、ユーザーの削除、ワークスペース、コネクタ、およびサブスクリプションの管理によって、いつでもアカウントを管理できます。 ["アカウントの管理方法について説明します"](#)。

著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp、Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。